

小学5年3組 外国語活動学習指導案

指導者（学級担任） 仙田 淳一

外国語指導助手（ALT） 米田 リリアン

グループごとに外国の行事を紹介し合うことをめあてに、グループで外国の行事を英語でどう表現するか考え合うかかわり合いをもたせたことは、子どもたちが学習した言葉を思い起こし（思考力）、必要な言葉を選択し（判断力）、積極的に表現しようとする力（表現力）の素地を培うのに有効だったか。

1 単元名 外国の文化を紹介しあおう ～Thanksgiving Day (感謝祭) を中心に～

2 単元の構想

(1) 10月15日の外国語活動では、ハロウィンを題材にし、いろいろなもの名前を英語で言う活動を行った。ALTの先生の掲示する絵と言葉を結びつけながら3回、4回と繰り返し発音することでだんだんと大きな声ではっきりした言葉で言えるようになってきた。また、登場するものに外国らしさを感じたり、黒板に外国で飾られているものを貼られることで、英語を使っても違和感のない雰囲気になったりした。子どもたちは、同じ言葉を繰り返し発音することと教室環境をその国の雰囲気にてできるだけ近い状況を作ること、違和感なくその国の言葉を使って活動している。ALTがJack O' luntanを子どもたちに示した瞬間、「かわいい。」とつぶやく子どもがいた。「英語ではどう言うんだろう？」と一人の子どものつぶやきを学級担任が取り上げ、ALTから「ファッションショーの時にやったね。なんと言った？」と問われ、子どもたちはそのときのことを思い出してみんなで“cute”と発音した。そのような環境の中で、「こう言いたいんだけど、英語ではどう言えばいいんだろう。」という子どもたちの疑問を大切に、子どもたちが主体的になって外国語で話そうとし、その国の文化に触れながら外国語を楽しんでいる。

一方、学級の子どもの何名かは塾や習い事で英語を学習しており、活動にも積極的に取り組む姿が見られる反面、苦手意識を感じている子どもも少なくはない。もちろん、英語を習っている子どもの中にも英語は苦手、分からないものと決めつけてしまっている子どももいる。また、外国のものや日本語にはない音の響きに興味をもっている子どもは多いが、表現する場面になると、声が小さかったり黙ってしまう子どももいる。このような子どもたちにも、外国語で表現することを楽しんで欲しいという願いを持つ。覚えなければならぬものとしての外国語ではなく、「もっと外国語を使って話したい。」という思いがわき立つような外国語活動にしていけたらと考えている。

(2) 5年生ともなると、お盆やお正月を家族と一緒に過ごす意義やそのありがたさを感じることが出来る。また、そのときの食事に舌鼓を打ったり、家族一緒に会話することを楽しさを感じたりもしている。5年生にとって地域の行事や日本の伝統行事は、温かみのあるとても有意義なものとなっている。

また、社会科の学習を一つの例にすると、小学3年生で自分たちの地域を見つめ、小学4年生で自分が住んでいる都道府県から日本へと視野が広がる。そして5年生では、輸出や輸入、情報などの学習を通して世界へと目が向く。5年生の子どもたちにとって、外国は大変興味を引く対象になっている。外国語活動をこの学年で行う意味も大きい。

このような子どもたちの姿から、時期的にも近いThanksgiving Dayを取り上げ、ご馳走を味わいながら会話する行事であることを知り、実際にそのときに食べているものを味わうことは、日本の祭りに重ね合わされたり、お盆やこれから楽しみなクリスマスやお正月につなげて体験できたりし、子どもたちの意欲的に取り組む姿が期待できると考えた。

Thanksgiving Dayは、アメリカでは11月の第4木曜日、カナダでは10月の第3月曜日に該当する。もともとの由来は神への収穫の感謝にあたる。この日に併せて全米で繰り広げられる帰省ラッシュや伝

続メニューにのっつご馳走づくりは、日本で言えばお盆やお正月によく似ている。また、日本の祝日11月23日の勤労感謝の日は、戦前では「新穀（しんこく）感謝祭」と呼ばれ、実りの秋に感謝していた。今でも「新嘗祭」もあり、Thanksgiving Dayにつながる文化が、日本に存在している。

クリスマスやハロウィンとともにアメリカではとても大切にされている行事の一つである。本單元において、この Thanksgiving Day を中心に取り上げる理由は、前ページの考えも含め次の4点である。

- ・日本にも似たような行事（お盆やお正月、秋祭り）があり、日本の体験を基に比較できる。
- ・ご馳走を食べるといふ、子どもたちにとって関心の高い活動が中心となり、外国語（英語）で話す雰囲気作りに適している。
- ・時期的にも適当であり、アメリカで祝う姿を思い浮かべながら外国語活動に取り組める。
- ・日本との比較という流れから、「アメリカには他の行事はないのか。」とか「アメリカ以外の国ではどんな行事があるのだろうか。」といった追求する姿へとつながりやすい。

また、外国の行事を体験したり調べて英語で発表したりする活動を行う経験をするのは、外国の文化に触れることであり、世界へと目を向ける子どもたちにとって、意味深いものとなる。

以上のことを踏まえ、本單元では、Thanksgiving Day を疑似体験し、自分たちでいろいろな行事を調べ、そこでよく食べるご馳走やそれに関わる別のことや行事の意味をグループごとに発表し、質問し合う活動を通して、子どもたちが英語での表現方法を考え、どの言い方をしたらいいかを選び、主体的に友だちに伝えようとする姿を育てることをねらいとする。

(3) 本單元では、実際に Thanksgiving Day で食べられている pumpkin pie を食べたり、その様子を写真で見たりすることで、その場の雰囲気を作り、アメリカの文化に溶け込みその楽しさを直接感じる活動を基盤にして行う。そうすることで、英語で話すことに違和感がなくなり、英語で話すにはどう言えばよいのか考えながら活動できると考える。

また、学級担任が Thanksgiving Day を子どもたちに紹介するという場面を基にし、その紹介を参考にしながら、グループごとに学級のみんなに紹介したい外国の行事を選び、どのように発表するのか考えさせる。その時に、学級担任が用いた文章をそのまま使えるように、学級担任の紹介した文章を掲示しておいたり、「こんなことを紹介したいのに、英語ではどう言えばいいのかな？」という子どもからの主体的な要望を叶えられるように、資料を準備したりALTにいつでも聞けたりする状況を整えておく。子どもたちが、学級担任が使った共通の文章と自分たちで話し方がわかった文章と合わせながらみんなに紹介しようとするその活動では、英語で話すことを楽しんでいる姿を期待する。しかし、英語で話すことに自信がもてない子どもたちもいる。紹介する練習を繰り返し行う時間を確保し、自信をもって話すことができるようになり、英語で話せた満足感を感じさせることで、より英語を楽しむ姿へとつなげたい。

グループの紹介が終わった後、質問したり質問に答えたりする活動を行う。この場面でも「英語で質問するにはどう言うの？」とか「その質問に英語で答えるにはどう言うのだろうか？」という子どもたちの疑問が生まれる。学級担任が子どもたちのその気持ちをくみ取り、ALTに聞いたり思い出させたりしながら、子どもたちが英語で話そうとする姿を認め、これからの外国語活動でもその姿が生かされるように意識づけたい。

本時は全部で4時間のうちの3時間目である。めあてを『グループで紹介する行事の発表内容を考えよう』とし、前時に行った学級担任の Thanksgiving Day の紹介の時に使われた言い方を参考にしながら、グループで紹介する行事についてどのようなことを発表するのか、主体的に考え合う姿を育てようとする。

グループは5人でなる生活班を単位とする。一人が1つずつ紹介できるように、紹介する内容を5つに限定する。その内容はグループに任せるが、学級担任が紹介の時に使った言い方をそのまま使ってもよいことを確認し、その他に何種類かの言い方はどう言えばよいのか、まずグループで考えさせる。その際、ボディランゲージを駆使して表現しようとしているグループや子どもがいたら、学級担任の方で全体へ紹介し、言葉だけでなく、体を使って伝えようとする姿のよさを価値づける。ALTと学級担任

はグループが言いたい言葉をとらえ、その取り組みを認めたり、どのような言い方が発表で提案されるか予想し、発表し合う場面での適切な支援につなげる。

グループで考えた言い方や考えてもどう言ってよいのかわからなかった言い方を発表し合うことで、他のグループがどのような言い方をしようとしているのかみんなでも共有する時間をもつ。そして、その言い方を英語でどう言うか考えたグループには英語で発表させる。どう言ってよいかわからなかった言い方については、誰でも使えるような言い方にかえてALTから聞くようにする。例えば、「クリスマスにはサンタクロースからプレゼントがもらえます。」という言い方については、「I get ○○ from □□ in △△」という言い方をALTが伝え、○○や□□や△△にはどのような言葉が入るか学級担任から知らせていく。このようにすることで、他のグループから出た言い方にも対応できることがあったり、「自分たちの場合○○にはおかしが入るね。」などというグループの中で考える姿が現れたりすることを期待する。

本時の終末には、本時の活動をふりかえった感想を書かせ、意図的に指名し、次時の紹介する活動へ向けての見通しと意欲の高まりをうながす。

3 活動展開計画と評価計画（全4時間 本時3/4）

次	主な学習活動	時	具体的な学習活動	外国語活動における思考力・判断力・表現力
1	Thanksgiving Day を楽しもう	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ Thanksgiving Day を知る。 ・日本の秋祭りの写真や映像を見て、気づいたことを発表する。 ・アメリカの Thanksgiving Day も似たお祭りであることを知る。 ・ Thanksgiving Day のときに食べられているものを英語で表現する。 	
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○ Thanksgiving Day を疑似体験する。 ・実際に食べて、その感想を英語で言う。 ・学級担任の Thanksgiving Day の紹介を聞き、もっと知りたいことや疑問に思ったことを質問する。 ・世界には他にもいろいろな行事があることを知る。 ・グループごとに紹介したい行事とその内容を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べた感想を発表するときに、グループの友だちと英語での言い方を考え合っている。 ・質問やその答えを英語でどう言うか考えている。
2	いろいろな行事を紹介しよう	③	<ul style="list-style-type: none"> ○ 紹介する行事の発表内容を考える。 ・学級担任の Thanksgiving Day の紹介を思い出す。 ・グループで紹介したい行事の発表内容を英語でどう言うか考える。 ・英語でどう言うか分からなかった表現を発表し、みんなでも考え合う。 ・グループごとに紹介の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した表現の中から使えるものがないかグループで考え合っている。 ・わからない言い方をみんなでも考え合っている。
		4	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループごとに発表する。 ・学級担任の Thanksgiving Day の紹介を思い出す。 ・グループごとに紹介の練習やりハーサルをする。 ・グループごとに発表する。 ・発表を聞き、質問したりそれに答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習したことを自信を持って意欲的に発表している。 ・質問やその答えを英語でどう言うか考えている。

4 本時の学習

- (1) ねらい
- ・グループの友だちと積極的にかかわり合い、紹介する行事の発表内容を英語で表現することを楽しむことができる。
 - ・学級担任の Thanksgiving Day の紹介で使われた表現が、自分たちの紹介の発表内容でも使えるか判断したり、別の内容の言い方を考えたりできる。

(2) 展 開

学習場面と子どもの取り組み	教師の支援と願い・評価
<p>1. あいさつをする。</p> <p>A L T Good morning, everyone.</p> <p>S (学級担任) Good morning, Ms. Lirian.</p> <p>A L T How are you?</p> <p>S (学級担任) I'm fine, thank you. And you?</p> <p>A L T I'm fine too, thank you.</p> <p>2. 学級担任の Thanksgiving Day の紹介を思い出す。</p> <p>「ご馳走を食べます。」</p> <p>→ “I have feast.”</p> <p>「お気に入りの洋服を着ます。」</p> <p>→ “I dress up for the party.”</p> <p>「パンプキンパイはとてもおいしいです。」</p> <p>→ “The pumpkin pie is delicious.”</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A L Tの投げかけに、学級担任も子どもたちと一緒に答え、明るい雰囲気を作り出す。 ・前時に使用した掲示物（Thanksgiving Day を紹介するため文章）を再度黒板に貼り、グループで発表内容を考えるときにいつでも見えるようにしておく。 ・子どもたちに発表の仕方の見通しをもたせるために、学級担任はできるだけゆっくり、はっきり話すよう心がける。
<p>3. 本時のめあてを知る。</p> <p>グループで紹介する行事の発表内容を考えよう。</p>	<p>評価の観点 (思考・判断・表現)</p> <p>発表内容について、英語での言い方を考えている。【評価方法 様子、ワークシート】</p>
<p>4. グループで紹介したい行事の発表内容を英語でどう言うか考える。</p> <p>「(ハロウィンでは,) キャンディーをもらいます。」</p> <p>→ “I have candies.”</p> <p>「(アメリカのクリスマスでは,) 七面鳥を食べます。」</p> <p>→ “I have a turkey.”</p> <p>「(韓国のお正月にも,) 年賀状を送ります。」</p> <p>→ “I send a New Year's card.”</p> <p>5. 英語でどう言うか分からなかった表現を発表し、みんなで考え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「もらう」も「食べる」といっしょで「have」だということを前に学習したことを思い出しました。 ・「食べます」は Thanksgiving Day の紹介でも出てきているからそれを使うといいです。 ・「送る」は分からないからリリアン先生 (A L T) に教えていただきたいです。 <p>6. グループごとに紹介の練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人が1つ紹介できるように、紹介することをグループの人数分考えることを伝える。 ・何度も練習できるようにグループごとにワークシートを配り、紹介文を記入させる。 ・言い方は不十分だが、なんとか体を使って表現している子どもや英語と体を使ってわかりやすく表現している子どもを認め、全体に広げる。 ・紹介する国や行事名は、紹介には含めず、語彙数を少なくさせ、分かりやすくさせる。 ・どう言うか迷っているグループに対しては、次の支援を行う。 <p>①以前学習した言葉は使えないか思い出すように促す。</p> <p>②体の一部を使って伝えることはできないか考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級担任は、それぞれのグループが発表した表現を模造紙に書き、グループでの練習や全体での紹介の時にふりかえって見ることができるようにする。
<p>7. 本時をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で話したい言葉が英語でどう言うかが分かって安心しました。 ・次の時間には、みんなに分かるように英語で発表したいです。 	<p>評価の観点 (思考・判断・表現)</p> <p>自分の発表する内容を英語で表現することを楽しんでいる。</p> <p>【評価方法 様子、ふりかえり用紙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発表内容を考えた感想」「次の時間への思い」を中心に記述させ、発表させる。